



蘭島閣美術館所蔵
「南薫造・小林和作・岡崎勇次・野田弘志」
四人展

広島県にゆかりの深い4人の油彩画を蘭島閣美術館の協力により紹介します。

期間 7月14日(日)

入館料

大人 500円
小中高生 250円

有田陶器市に熊野筆出展

4月29日(祝)から5月5日(祝)までの間、日本一の陶器市「第99回有田陶器市」(佐賀県西松浦郡有田町)が開催されました。



全国一の規模の「有田陶器市」に熊野筆を出展することにより、「筆の都熊野」の知名度を向上させることを目的としたこの出展事業も、今年で5回目を迎え、「有田陶器市」において着実に「熊野筆」が根付いてきました。

今年の陶器市は天候に恵まれ、初日は19万人、7日間で98万人のたくさんの人出がありました。
チラシの配布などによる熊野筆の紹介、また、毛筆や化粧筆の販売コーナー、実際に筆を使った席書大会を開催し、たくさんの方に熊野筆を親しんでいただきました。たくさんの方の常連観光客が「熊野筆」を満喫されました。

じいけん

「星とたんぽぽ」から

先日、童謡詩人「金子みすゞの人權意識について」の講話を聞きました。

その中で、戦後の人權意識の確立の中における考え方について、次の点をあげられました。

〈プラス面〉

- ・ 基本的人権の拡充
- ・ 男女同権の推進
- ・ 言論、表現の自由

〈マイナス面〉

- ・ 権利の拡大と義務との調和の崩れ
- ・ 利己主義と破壊行為の増大
- ・ 唯物的価値観の横行による精神的価値観の衰退

このことにより、「平等感に立った個々人の尊重」「自然・環境との共生」「他人と自分との調和」「幸福の探求」など、新しい時代への精神的構築が必要であり大切です。

金子みすゞの詩の中で「星とたんぽぽ」は、私たちに語りかけてきます。

「星とたんぽぽ」

青いお空のそこふかく、
海の小石のそのように、
夜がくるまでしずんでいる、
屋のお星はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ。

ちつてすかれたたんぽぽの、
かわらのすきに、だあまって、
春のくるまでかくれてる、
つよいその根はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ。

物だけに心を奪われないで、
目に見えない本当のことを見
つめる感性を育て、また、自
分だけの利益に走るのではな
く、他人の中に自分を見つけ
ましょう。

(住民課同和対策室)

TEL 820-5604

愛の献血協力者

ここでは4月23日現在で5回以上、5回刻みの献血回数に到達された方を紹介しています。

皆様のご協力、誠にありがとうございます。

次回の献血は8月23日(金)、東公民館・町民会館で行う予定です。
皆様のご協力をお願いします。

到達回数	氏名(敬称略)	地区名
5回到達	多賀谷 和彦	初神
10回到達	長尾 加代子 鈴木 イツ子	城之堀 平谷
15回到達	高野 陽子 荒谷 佐智子	萩原 萩原
20回到達	馬場 美由紀 渡辺 澄子	東山 石神
35回到達	土井原 明美 佐々木志津子	川角 川角
40回到達	小坂田須美子	柿迫
45回到達	浜中 鈴美 五拾免 康枝	東山 萩原

(生活環境課TEL 820-5606)